

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社バリューHR
コード番号 6078 URL <http://www.valuehr.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

(氏名) 藤田 美智雄
(氏名) 遠藤 良恵

TEL 03-6380-1300

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,452	—	289	—	245	—	142	—
24年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 142百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	142.87	—
24年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成24年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第3四半期の数値及び平成25年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成25年12月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	3,900	965	24.8	972.50
24年12月期	3,989	848	21.3	776.15

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 965百万円 24年12月期 848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,950	2.9	382	10.5	302	0.7	168	5.6	156.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募による新株式発行株式数(191,100株)、自己株式の処分株式数(54,000株)及びオーバーアロットメントによる売り出しに関する第三者割当増資(54,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
注）詳細は、添付資料の4ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	1,047,000 株	24年12月期	1,047,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	54,000 株	24年12月期	24,000 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	998,495 株	24年12月期3Q	― 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府が推し進める経済・金融政策に対する期待感から円安・株高が進行し、設備投資については企業収益が改善するなかで持ち直し、個人消費については雇用・所得環境に改善の動きが見られるなかで引き続き底堅く推移してきており、景気回復に向けた動きが見られるようになりました。

当社グループが主要な顧客としております健康保険組合を取り巻く状況を見てみますと、平成25年6月14日に閣議決定された経済再生に向けた成長戦略「日本再興戦略－JAPAN is BACK－」の中で、国民の「健康寿命」の延伸がテーマの一つとして掲げられたことを受け、「国民の健康寿命が延伸する社会」に向けた予防・健康管理の推進として、全ての健康保険組合では平成26年度からのデータヘルス計画（仮称）の作成・公表に向けた取組が求められております。

そのような環境の下で、当社グループにおきましては、健康保険組合や企業等の団体に対して、健康管理サービス事業の基盤である健康管理統合システム「バリューカフェテリア®システム」及び本システムを構成する健診予約システムや健診結果管理システム等の提供を事業の柱として展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、新たに設立された健康保険組合へのサービス提供及び既存の契約団体先における健康診断の実施に係る代行業務の増加により、システム利用料及び健康診断データの管理収入等をはじめとする事務代行料等の売上が増加しております。また、健康保険組合を対象とする業務支援事業では、健康保険組合の新規設立支援のコンサルティングの新規成約による売上及び新たに設立された健康保険組合事務局の運営支援としての人材派遣による派遣売上等が堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,452,033千円、営業利益は289,139千円、経常利益は245,905千円、四半期純利益は142,655千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

バリューカフェテリア事業

当第3四半期連結累計期間は新たに設立された健康保険組合へのバリューカフェテリア®システムの提供が開始されております。また、健診予約システム及び健診結果管理システム等の個別システムの利用団体の増加及び契約団体先における健康診断の実施に係る代行事務の増加により、システム利用料、健康診断データの管理収入等をはじめとする事務代行料等の売上が増加しております。これにより、売上高は1,107,427千円、営業利益は380,136千円となりました。

HRマネジメント事業

当第3四半期連結累計期間は健康保険組合の設立支援コンサルティングの新規成約による売上及び新たに設立された健康保険組合事務局の運営支援としての人材派遣による派遣売上等が増加したことにより、売上高は344,605千円、営業利益は133,415千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資 産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,470,556千円（前連結会計年度末は1,228,521千円）となり、242,034千円増加しました。これは、その他の流動資産に含まれる短期貸付金が53,000千円減少したものの、現金及び預金の307,784千円の増加及び売掛金の51,325千円の増加等があったことが主な要因です。固定資産は2,429,599千円（前連結会計年度末は2,760,719千円）となり、331,119千円減少しました。これは、投資その他の資産に含まれる長期性預金290,000千円が流動資産にシフトしたこと及び敷金及び保証金が27,933千円減少したこと等が主な要因です。これらの結果、総資産は3,900,156千円（前連結会計年度末は3,989,241千円）となり、89,084千円の減少となりました。

(負 債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,205,544千円（前連結会計年度末は1,304,233千円）となり、98,689千円の減少となりました。これは、その他の流動負債に含まれる営業預り金の64,985千円の増加がありましたが、未払法人税等の40,966千円の減少及びその他の流動負債に含まれる預り金が145,279千円減少したこと等が主な要因です。固定負債は1,728,918千円（前連結会計年度末は1,836,349千円）となり、107,430千円の減少となりました。これは、長期借入金が106,029千円減少したこと等が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は965,693千円（前連結会計年度末は848,658千円）となり、117,035千円の増加となりました。これは、主に自己株式の25,620千円の増加と四半期純利益142,655千円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

平成25年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は公募による新株式発行株式数（191,000株）、自己株式の処分株式数（54,000株）及びオーバーアロットメントによる売り出しに関する第三者割当増資分（54,000株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	561,657	869,442
売掛金	198,911	250,236
商品	7,458	12,336
仕掛品	1,858	1,063
貯蔵品	4,281	6,584
その他	454,353	330,892
流動資産合計	1,228,521	1,470,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	819,957	803,452
土地	1,383,681	1,383,681
その他（純額）	37,657	40,330
有形固定資産合計	2,241,295	2,227,465
無形固定資産	98,408	100,113
投資その他の資産	421,014	102,020
固定資産合計	2,760,719	2,429,599
資産合計	3,989,241	3,900,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,465	68,908
短期借入金	172,708	183,039
未払法人税等	82,675	41,708
その他	987,385	911,888
流動負債合計	1,304,233	1,205,544
固定負債		
長期借入金	1,661,227	1,555,198
その他	175,122	173,720
固定負債合計	1,836,349	1,728,918
負債合計	3,140,582	2,934,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	185,655	185,655
資本剰余金	167,595	167,595
利益剰余金	507,168	649,823
自己株式	△11,760	△37,380
株主資本合計	848,658	965,693
純資産合計	848,658	965,693
負債純資産合計	3,989,241	3,900,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,452,033
売上原価	826,109
売上総利益	625,924
販売費及び一般管理費	336,784
営業利益	289,139
営業外収益	
受取利息	448
補助金収入	7,400
その他	299
営業外収益合計	8,147
営業外費用	
支払利息	30,388
株式公開費用	18,448
その他	2,544
営業外費用合計	51,381
経常利益	245,905
税金等調整前四半期純利益	245,905
法人税等	103,250
少数株主損益調整前四半期純利益	142,655
四半期純利益	142,655

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142,655
その他の包括利益	—
四半期包括利益	142,655
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	142,655
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	バリューカフ ェテリア事業	HRマネジメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1, 107, 427	344, 605	1, 452, 033	—	1, 452, 033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1, 107, 427	344, 605	1, 452, 033	—	1, 452, 033
セグメント利益	380, 136	133, 415	513, 551	△224, 411	289, 139

(注) 1. セグメント利益の調整額△224,411千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の総務部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（6）重要な後発事象

（公募による新株の発行）

当社は、平成25年10月4日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場へ上場いたしました。当社は上場にあたり平成25年8月30日及び平成25年9月13日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議しており、平成25年10月3日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は361,375千円、発行済株式総数は1,238,000株となっております。

（1）募集方法

一般募集（ブックビルディング方式による募集）

（2）発行する株式の種類及び数

普通株式 191,000株

（3）発行価格

1株につき2,000円

一般募集はこの価格にて行いました。

（4）引受価額

1株につき1,840円

この価額は、当社が引受人より1株当たりの新株払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

（5）資本金組入額

1株につき920円

（6）発行価格の総額

382,000千円

（7）引受価額の総額

351,440千円

（8）資本金組入額の総額

175,720千円

（9）払込期日

平成25年10月3日

（10）資金の使途

バリューカフェテリア事業の基幹システムであるバリューカフェテリア®システムのプラットフォーム機能拡充（人工知能（人間の知的作業をコンピュータに行わせるための一連の基礎技術）システムの導入、ユーザビリティの改善、スマートフォン・タブレット対応等）及びクライアント認証等のセキュリティ強化等に係る開発費用、カフェテリアプランの管理者機能の拡充に係る開発費用、健診予約システムの個人向けサイトの開発費用、健診結果管理システムの事業所（産業医）向け機能及び保健指導運用機能の拡充に係る開発費用、残額はこれらのバリューカフェテリア事業運営のための業務支援システムの機能強化のための資金に充当する予定であります。

（自己株式の処分）

当社は、東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）市場への上場にあたり平成25年8月30日及び平成25年9月13日開催の取締役会において、次のとおり自己株式の処分を決議しており、平成25年10月3日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金及び発行済株式総数の変動はありません。

（1）募集方法

一般募集（ブックビルディング方式による募集）

（2）発行する株式の種類及び数

普通株式 54,000株

（3）発行価格

1株につき2,000円

一般募集はこの価格にて行いました。

（4）引受価額

1株につき1,840円

この価額は、当社が引受人より1株当たりの新株払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

（5）資本金組入額

—

（6）発行価格の総額

108,000千円

（7）引受価額の総額

99,360千円

（8）自己株式処分益の処理

全額（61,980千円）その他資本剰余金としております。

（9）払込期日

平成25年10月3日

（10）資金の使途

バリューカフェテリア事業の基幹システムであるバリューカフェテリア®システムのプラットフォーム機能拡充（人工知能（人間の知的作業をコンピュータに行わせるための一連の基礎技術）システムの導入、ユーザビリティの改善、スマートフォン・タブレット対応等）及びクライアント認証等のセキュリティ強化等に係る開発費用、カフェテリアプランの管理者機能の拡充に係る開発費用、健診予約システムの個人向けサイトの開発費用、健診結果管理システムの事業所（産業医）向け機能及び保健指導運用機能の拡充に係る開発費用、残額はこれらのバリューカフェテリア事業運営のための業務支援システムの機能強化のための資金に充当する予定であります。

（第三者割当による新株の発行）

当社は、平成25年8月30日及び平成25年9月13日開催の当社取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式54,000株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議しており、平成25年11月5日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は411,055千円、発行済株式総数は1,292,000株となっております。

（1）発行する株式の種類及び数

普通株式 54,000株

（2）割当価格

1株につき1,840円

（3）資本金組入額

1株につき920円

（4）割当価格の総額

99,360千円

（5）資本金組入額の総額

49,680千円

（6）払込期日

平成25年11月5日

（7）割当先

野村證券株式会社

（8）資金使途

バリューカフェテリア事業の基幹システムであるバリューカフェテリア®システムのプラットフォーム機能拡充（人工知能（人間の知的作業をコンピュータに行わせるための一連の基礎技術）システムの導入、ユーザビリティの改善、スマートフォン・タブレット対応等）及びクライアント認証等のセキュリティ強化等に係る開発費用、カフェテリアプランの管理者機能の拡充に係る開発費用、健診予約システムの個人向けサイトの開発費用、健診結果管理システムの事業所（産業医）向け機能及び保健指導運用機能の拡充に係る開発費用、残額はこれらのバリューカフェテリア事業運営のための業務支援システムの機能強化のための資金に充当する予定であります。